



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン：経済状況

(4月23、24日付イラン報道)

1. 基本品目の価格上昇 (23日付イラン・ニュース紙：ファールス通信の引用)

イラン中央銀行の報告によれば、33の基本品目の価格が1年間で18～146%上昇している。違法な価格上昇が抑制されないことに、批判がなされている。政府はインフレについて書くとするメディアを非難するが、ファールス通信は本問題にしっかりと取り組む。

2. 石油省などに対するサイバー攻撃 (24日付ケイハーン・インターナショナル紙)

石油省のニークザード (Alireza Nikzad) 報道官は、22日に石油省や NIOC (国営石油会社) などに対して外部からサイバー攻撃がなされた問題に関し、主なサーバーはインターネットから隔離されており、重要なデータに問題はなかったと発表した。なお、イラン最大の石油積出基地カーク島のシステムは、オフライン化して対応した。

3. 第二次補助金改革 (23日テヘラン・タイムズ紙)

バーホナル国会副報道官は、4,160億ドルの今年度予算案 (イラン暦1391年。西暦2012年3月20日～2012年3月20日) が認められた後に、第二次補助金改革を実施することについて、国会と政府が合意したと述べた。

4. IMF 専務理事の発言 (23日イラン・デイリー紙)

IMF のラガード専務理事は、イランの経済改革および補助金削減計画が成功裏に実施されたことを称賛した。世界銀行・IMF 総会において、同専務理事は、過去2年間におけるイランでの補助金システムの改革は稀有なものであり、他国も見習うべき動きであるとした。

5. 中国のイラン産原油輸用量 (24日付イラン・ニュース紙)

2012年3月における中国によるイラン産原油輸用量は、日量約25万3,302バレルで、2月に続き前年比で半減している。西側の取引筋は「2月のイラン産原油輸用量は、我々の予想通り大きく減少している。4月分の統計においても、いくらか減少すると予測する」と述べた。

6. 労働者への給料未払い [23日付イラン・ニュース紙：ILNA (イラン労働者通信) の引用]

マーザンダラーン州 (イラン北部) の繊維工場では、労働者に18カ月の間、給料が支払

われておらず、ひどい状況で過ごしていると、労働運動家のドルベイギー（Dorbeigi）氏が述べた。

#### 7. イランの発電能力（22日付テヘラン・タイムズ紙）

イラン発電管理会社（タバニール社；TAVANIR；Iran Power Generation Transmission and Distribution Management Company）が、イランの発電能力は約63ギガワットであり、世界15位に位置すると述べた。エネルギー省は、今年度、5ギガワットを増強する予定である。イランは現段階で、トルコ、アルメニア、トルクメニスタン、アゼルバイジャン、パキスタン、アフガニスタンと、電力取引を行っている。

#### 8. 独国企業によるイランとの取引継続（24日付テヘラン・タイムズ紙）

イラン中央銀行への制裁やイランの銀行によるSWIFT使用停止にもかかわらず、独国企業はイランとの取引を活発に継続しており、機械類、化学品、農産品、自動車および自動車部品などを輸出している。代金決済方法に関しては、スーツケースでの運搬の他、個別バーター取引、そして、とりわけトルコ、アルメニア、ベラルーシ、アゼルバイジャンを介した第三国決済が代替手段となっている。独国のイラン向け輸出額は、昨年より18%減少しているが、31億ドルにもものぼる。

#### 9. 銅地金生産（23日付イラン・デイリー紙）

イラン銅会社（NICICO；National Iranian Copper Industries Company；元国営銅公社）のモハンマディ（Ardehshir Sa'ad Mohammadi）総裁は、イラン暦昨年（1390年。西暦2011年3月21日～2012年3月19日）の銅地金生産が23万5千トンであったと述べた。